

兵庫県立宝塚高等学校 第64回 入学式 式辞

校庭の桜が春風に舞い、東六甲の山々にも、若葉が芽吹き始める今日の良き日に、兵庫県議会議員 橋本 成年（はしもと なるとし）様をはじめ、多くのご来賓、並びに保護者の皆様のご隣席のもと、兵庫県立宝塚高等学校第64回入学式を挙行できますことは、私ども教職員一同にとって、この上ない喜びであります。

ただ今、入学を許可しました本校第六十四回生、201名の皆さん、ご入学おめでとうございます。本校教職員、並びに在校生一同は、皆さんの入学を心から歓迎いたします。そして保護者の皆さま、ご家族の皆さまにおかれましては、お子様のご入学をさぞかしお喜びのことと存じます。心よりお祝い申し上げます。

本校は昭和38年に開校し、令和4年度に創立60周年を迎えました、宝塚市内では、最も伝統のある公立高等学校です。2万人を超える本校同窓生の皆様は、地元宝塚をはじめ、国内外で広く活躍されています。

本校の校訓は、①「剛健中正」②「誠意正心」③「明朗闊達」というもので、①身も心も健やかであれ、②正しい心で何事にも一生懸命であれ、③いつでも明るく活発にリーダーシップを取れ、という3つの願いが込められています。皆さんも、県宝生の伝統を引き継ぎ、心身ともに健康で、勉強にも学校行事にも、部活動にも精一杯取り組み、自分自身はもちろんのこと、周りの人をも明るく活発にする存在になってもらいたいと思います。

また本校では、「宝塚学」という科目を設定し、地域を愛し、地域をリードする人材育成に努めて参りました。そしてそのような取り組みを通して、地域の皆様から信頼され愛される学校づくりを進めております。新入生の皆さんも、先輩方が築いてこられた本校の伝統に誇りを持ち、その歴史をしっかりと引き継いでいただきたいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様に一言ご挨拶申し上げます。高等学校の三年間は子どもから大人への移行期にあたり、成長と変化の激しい時期です。心の振幅も大きくなり、保護者の皆様の思いに沿わないようなことがあるかもしれません。自我の確立のための子どもたち自身の闘いのときです。少し離れたところからお子様の努力の様子を、時に温かく、時に毅然とした態度で、見守っていただけたらと思います。保護者の皆様と学校が連携を深め、教職員が一丸となってお子様の成長を支え、お子様が自立に向けて歩めるよう、指導と支援に力を尽くしてまいります。学校の教育方針をご理解いただき、お子様が学習に専念できる環境づくりにご協力とご支援をお願いいたします。

それでは64回生の皆さん、今日から皆さんの高校生活が始まります。皆さんが楽しく充実した三年間を過ごされることを祈念して、式辞といたします。

令和八年四月八日

兵庫県立宝塚高等学校
校長 佐々木 豊